中國新聞
8月6日（日）
発行所
広島市中区土橋町7番1号
〒730-8677
中国新聞社
電話(082)236-2111(受付案内台)
郵便振替口座 01370-0-57
ホームページ
http://www.chugoku-np.co.jp/

「核なき明日」誓いの朝

ヒロシマきょう原爆の日

最多37ヵ国が式典参列

人類史上初の原爆投下から六十一年。広島は六日、原爆の日を迎えた。爆心地に近い広島市中区の平和記念公園で午前八時から、原爆死没者慰霊式・平和祈念式（平和記念式典）が開かれる。被爆者や遺族代表らが、二十四万七千人の原爆犠牲者を追悼し、核兵器廃絶を誓う＝3・25・28・29面に関連記事。（宮崎智三）

式典では、二人の遺族代表と秋葉忠利市長が、原爆死没者名簿を原爆慰霊碑に奉納する。この一年間に亡くなったり、新たに死亡が確認された被爆者は五千三百五十人。名簿登載者は総数二十四万七千七百八十七人に増えた。今年初めて、「氏名不詳者　多数」と書いた名簿も奉納し、名前の分からない数多くの犠牲者の冥福を祈る。

遺族や被爆者代表に続き、小泉純一郎首相や扇千景参院議長、川崎二郎厚生労働相らが献花する。

原爆投下の八時十五分。遺族代表の米倉正明さん(46)＝中区＝と、こども代表で青崎小六年の三登百合子さん(11)＝南区＝の二人が「平和の鐘」をつく。参列者は全員、一分間黙とうする。

この後、秋葉市長が平和宣言。自ら会長を務める平和市長会議と一緒に核軍縮交渉を誠実に行い、完了させる義務を果たすよう核兵器保有国に求めるキャンペーンを展開する決意を表明する。

こども代表の南観音小六年の新谷望君(12)＝中区＝と、楽々園小六年のスミス・アンジェリアさん(12)＝佐伯区＝が「平和への誓い」を読み上げた後、小泉首相と藤田雄山広島県知事があいさつ。国連のアナン事務総長のメッセージを田中信明事務次長(59)＝軍縮担当＝が代読する。

市は、核兵器廃絶を一層強く訴えるため、核保有国を含む百四十カ国に政府首脳らの参列を要請し、最多の三十七カ国の駐日大使らが参列を予定している。ただ、核兵器保有国はロシアだけにとどまる。

被爆六十年の節目を迎えた昨年は要人あいさつのため、式典の時間を二十分間延長したが、今年は例年通り四十五分間に戻す。

ドームと神話 出会う

浮かび上がる平和の祈り―。芸術家岡本太郎氏が原爆のさく裂する瞬間を描いた壁画「明日の神話」の原寸大の映像が五日夜、広島市中区の原爆ドーム前の護岸に映し出された。

午後八時すぎ、対岸から大型プロジェクターで石積みの護岸に投影。映像は徐々に大きくなり、高さ五・五㍍、幅三十㍍の原寸大になった。

現物は六月に修復されて東京で公開中。市民が広島への設置を誘致しており、後押ししようと市民グループ「イマジン・プロジェクト・ヒロシマ」が企画した。（和多正憲）

原爆ドーム前の護岸に映し出された「明日の神話」の映像＝5日午後10時30分、広島市中区（撮影・荒木肇）

靖国合祀基準

「戦役勤務」に限定

大戦末期 東条元首相が通達

東条英機元首相

第二次世界大戦末期、東条英機首相（兼陸相）＝当時＝が「戦役勤務に直接起因」して死亡した軍人・軍属に限るとする靖国神社合祀基準を陸軍秘密文書で通達していたことが五日までに分かった。（3面に関連記事）

文書は、靖国への合祀は「戦役事変に際し国家の大事に斃れたる者に対する神聖無比の恩典」と位置付け、合祀の上申は「敬虔にして公明なる心情を以て」当たるよう厳命。原則として戦地以外での死者は不可としている。元首相自身の戦中の通達に従えば、戦後の同元首相らA級戦犯は明らかに「合祀の対象外」となる内容だ。

文書は一九四四年七月十五日付で「陸軍大臣東条英機」名で出された「陸密第二九五三号　靖国神社合祀者調査及上申内則」。原稿用紙二十九枚分で、原文のカタカナをひらがなに直して戦後に書き写したとみられる。八〇年ごろに旧厚生省が廃棄処分にした書類の一部として作家の山中恒氏が古書市で入手した。

防衛庁防衛研究所の史料専門官は「旧陸軍の秘密文書の書式に合致し、内容にも矛盾がない」と原文を写したものにほぼ間違いないとしている。

文書は、戦死者、戦傷死者以外の靖国神社への「特別合祀上申」対象者として①戦地でマラリア、コレラなどの流行病で死亡した者②戦地で重大な過失によらず負傷、病気の末に死亡した者③戦地以外で戦役に関する特殊の勤務に従事し負傷、病気の末に死亡した者―の三つの要件に限定。「死没の原因が戦役（事変）勤務に直接起因の有無を仔細に審査究明すること」を命じている。

この文書と同じとじ込みの中にあった同年七月十九日付の「陸軍省副官・菅井斌麿」名の秘密文書の写しは「東条通達」を補う形で、上官らの温情から合祀対象者が拡大傾向にあった当時の事情を「神霊の尊厳を冒すこと あらんか實に由々しき大事なり」と戒めている。

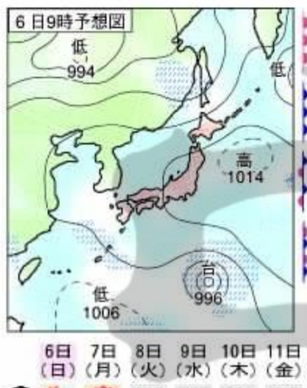
きょうの天気

【概況】東の海上に中心を持つ高気圧が日本列島を覆う。中国地方はおおむね晴れて、厳しい暑さが続く。ただ昼すぎからは強い日射の影響で、大気の状態が不安定に。山沿いを中心ににわか雨や雷雨となる所も。レジャーには帽子や日傘など熱中症対策が必要。

玉鳳院 総事務
仏壇・仏具 征光堂 有限会社 史光
セレモニー用品総合卸 有限会社 セイコー物産 TEL 082-230-6649

	6時	12時	18時	最高	最低
広島	0	10	20	33	26
岩国	0	10	20	32	23
三次	10	30	20	33	23
周南	0	10	10	33	24
福山	10	0	0	33	25
山口	10	10	0	33	25

岡山	晴	35 26	札幌	晴	31 22
松江	晴後曇	33 25	仙台	晴	28 22
鳥取	晴後曇	34 24	名古屋	晴	35 24
松山	晴後曇	33 26	福岡	晴	32 27
東京	晴	33 25	鹿児島	晴	35 26
大阪	晴	38 28	那覇	晴	32 27



	6日(日)	7日(月)	8日(火)	9日(水)	10日(木)	11日(金)	12日(土)
広島	20	10	30	30	40	30	30
山口	10	10	30	30	40	40	30
岡山	10	10	30	40	40	30	30
島根	30	10	20	30	30	30	30
鳥取	20	10	20	30	30	30	30

プール吸排水口

32府県500カ所で不備

防止金具未設置 山口158 広島11

埼玉県ふじみ野市の市営プールで、ふたが外れた吸水口に小学二年戸丸瑛梨香さん(7)が吸い込まれ死亡した事故を受け、都道府県教育委員会などが実施した全国調査で、吸排水口の安全確保に不備がある学校や公営のプールが三十二府県で計五百カ所以上見つかったことが五日、共同通信のまとめで分かった。（28面に関連記事）

文部科学省は、吸排水口のふたをボルトなどで固定するだけでなく、パイプ部分に「吸い込み防止金具」を取り付ける二重の防護策を取るよう一九九六年以降、各教委に通知。しかし、趣旨を理解していない自治体が多く、防止金具がないプールが四百三十二カ所あった。

ふたの固定が不十分なプールは百三十七カ所だった。重複の可能性を考慮に入れても安全上問題のあるプールは五百カ所を超える。

文科省は事故翌日の一日、都道府県教委に学校や公営プールの緊急調査を指示。調査中の自治体も多く、問題プールの数はさらに増えそうだ。

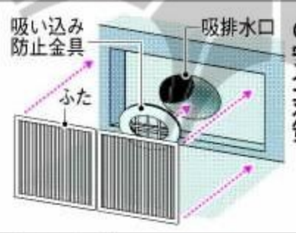
同省は「過去に防止金具の設置状況は調査していない」と実態を把握していなかったことを認め「事故再発を防ぐため、二重防護を周知徹底するよう指導を強めたい」としている。

吸い込み防止金具が取り付けられていないケースがこれまで最も多く見つかったのは山口県で百五十八カ所。岩手県が九十一カ所、新潟県が三十八カ所、神奈川県が二十九カ所、広島県が十一カ所だった。岩手県教委の担当者は「とりたてて二重防護の指導はしていなかった」と述べた。

また、ふたの固定が不十分だったケースは山口県で二十二カ所、岐阜、福井両県で十二カ所、広島県で十一カ所、長野県で十カ所など。広島県教委などは調査途中で、全容把握を急いでいる。

文科省はプール事故の多発を受けて九六年に二重防護を都道府県教委に指示。九九年以後、毎年夏前に徹底するよう通知している。

事故が起きたふじみ野市の流水プールも防止金具はなかった。ふじみ野市教委は事故直後に「吸水口の種類はいろいろある。国の通知は二重防護を求めてはいない」と述べたが、後に誤解だったと認めた。



プールの吸排水口の安全対策

学校・公営プールの不備

	吸い込み防止金具なし	ふた固定が不十分
広島	11	11
山口	158	22
島根	6	
鳥取	5	2
全国	432	137

※共同通信まとめ

大阪の監禁

11年で女性6人被害

村本容疑者 車で連れ回しも

大阪府茨木市の女性会社員監禁事件で逮捕された無職村本卓也容疑者(42)が、一九九五年から昨年にかけ、伝言ダイヤルで知り合った女性ら三人を監禁したり連れ回したりしていた疑いが強いことが五日、府警の調べで分かった。（29面に関連記事）

村本容疑者のマンションでは二〇〇四年三月に広島県出身の女性美容師＝当時(29)＝が変死体で見つかったほか、九七年ごろにも女性が監禁されていた疑いが既に浮上。九五年からの十一年間で少なくとも六件の事件を起こした疑いが強まった。

九八―〇二年には同様の事件の通報がなく、府警はさらに被害件数が増える恐れもあるとみて追及している。

調べでは、村本容疑者は九五年六月ごろ、伝言ダイヤルで知り合った当時二十歳の大阪府内の女性を、女性会社員(24)を監禁したマンションとは別の茨木市のマンションに連れ込み、半年間監禁。数珠を手に「おまえには死霊が出ている」と脅していたという。

女性会社員の監禁事件発覚後、被害に遭った女性が電話で届け出た。

また九七年ごろにも二十歳前後の女性が同容疑者のマンションに監禁されたと、知人から通報があった。

さらに昨年二月から三月にかけ、当時三十二歳の女性が村本容疑者に乗用車でホテルなどを連れ回された。二月二十日に女性から姉に「事情があって一カ月くらいホテル住まいする」と電話があり、三月七日に和歌山県内で警察に保護された。

九七年ごろには、別の監禁の疑いが既に浮上しているが、被害女性は当時二十二歳で、勤務先のスナックで客だった村本容疑者と知り合った。母親がマンションから救出した際には、あばら骨が折れ、栄養失調状態だったという。

天風録

きょう原爆の日。おしぼりサービス、通訳など、さまざまなボランティアが平和記念式典を支える。参列する被爆者や遺族の身体には、厳しい歳月も刻み込まれている。そっと寄り添うのは車いす介助ボランティアだ。六年目になる▲約八十人が事前に被爆体験を聞き、この日に備える。被爆者と同じ目線で、もてなしたいからである。広島市西区、松本隆文さん(51)も参加者の一人。子どものころ母親から、死臭が漂い焼かれるのを待つ無数の犠牲者の悲惨さを聞いた。その母親も七年前亡くなり、思いは格別だ▲毎回続けるうち「待ってるだけじゃ駄目と痛感した」と松本さん。初めは車いす介助受付近くで待機したが、被爆者らは遠慮がちで自分からは言い出さない。会場周辺を回り「乗ってください」と一歩踏み出し、触れ合いが進んだ▲被爆体験の風化が言われ、継承するのは年々難しくなる。ただ、じっとしているだけでは心は開かれないし、伝わらないのも確かだ。四年前死去した被爆詩人の「米田栄作詩集」が命日のきのう、後輩詩人らの尽力で刊行されたのも一つの文化ボランティアだろう▲ヒロシマの夏は、世界各地からの人々を迎えて催しも多彩だ。そんな中、ちょっとした出会いに始まる交流が、今の国際平和都市を紡ぎ出してきた▲一人一人が、もてなしの心で迎え、触れ合いへの一歩を踏み出す。そんな一日になれば、被爆の原点の思いは伝わっていくに違いない。

きょうの紙面

25 ヒロシマ体験 後輩に語る

2 麻生氏が靖国解決案
3 ブラジル健診見送り
4 ウクライナで大連立
11 古里食材満載の食堂
16 女子幅跳びで木村V
18 赤ヘル投手陣総崩れ
28 セクハラ訴訟が和解
29 映画共感ロケ地清掃
わいど地方版 23―25
24 いかだ遊び楽しむ
25 放影研が施設公開
21 ふれあい 夏バテ対策ランク
27 写真特集 宮島彩るハマゴウ
2 社説 ヒロシマ61年

紙面へのご意見・要望は読者広報センター ☎082-236-2455
購読・試読お申し込み 0120-492-506

広島工業大学院
一般入試・社会人・学外推薦
《工学研究科》
（博士後期課程）
●知的機能科学専攻
（博士前期課程）
●電子工学専攻
●機械システム工学専攻
●建設工学専攻
●情報システム工学専攻
《環境学研究科》
（修士課程）
●地域環境科学専攻
試験日 9月1日(金)
出願期間 8月17日(木)～8月24日(木)必着
★お問い合わせ・入試要項請求先
〒731-5193 広島市佐伯区三宅2-1-1
広島工業大学 入試部
☎082(921)3129

もっと知ってください。[被爆樹木]のこと。
「緑」の伝言。
本日22面の全面広告「緑の伝言」内のQRコードを携帯電話のバーコードリーダーで読み込んでアクセスすれば、「被爆樹木めぐり」の動画がご覧いただけます。
アオギリ
www.green-greetings.com

おかげさまで シリーズ合計100万部突破！
子育てハッピーアドバイス
明橋大二 著
スクールカウンセラー・医者
イラスト＊太田知子
「赤ちゃんに抱きぐせをつけてはいけない」と、言う人がありますが、これは間違っています（第1弾）
「言えば言うほど、逆効果」になってしまう。どうすれば、しつけや勉強が自然に身につく子どもに育てられるのか？（第2弾）
10歳までは徹底的に甘えさせる。そうすることで、子どもはいい子に育つ（第1弾）
キレない子に育てるには（第1弾）
読者からのメッセージ
マンガになっているし、カラーだし、読みやすい!! どんどん心が楽になり、ほっとし、ハッピーになりました。私の子育ての教科書です!!（大分県 31歳・女性）
勉強（7歳～）
しつけ（4～6歳）
自己評価（0～3歳）大切にされている、という気持ち
いちばん大切な土台を忘れがちです
こうなってしまう前に……
第1弾 65万部突破!!
子育てハッピーアドバイス ●定価980円（税込）（本体933円）4-925253-21-2
第2弾 40万部突破!!
子育てハッピーアドバイス2 ●定価880円（税込）（本体838円）4-925253-22-0
オールカラー
1万年堂出版 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-4-5F TEL 03-3518-2126 FAX 03-3518-2127 http://www.10000nen.com/

李実根 著
激動の時代を駆け抜けた一人の在日朝鮮人の波乱の物語
プライド
共生への道 ～私とヒロシマ～
激動の時代を、ただひたすら信念を貫いて生きた男がいた。朝鮮人被爆者としての自らの体験から、朝鮮人差別からの解放と、被爆者の権利回復のために闘い続ける著者渾身の手記。
定価1,575円（税込）
ヒロシマと音楽
広島平和文化センターの所蔵資料や放送メディアを通じてデータの掘り起こしを行い、1869曲のデータベースを集約することができた。その活動の概要と、平和教育の中でのその役割などを解説する。
「ヒロシマと音楽」委員会
定価1,575円（税込）
汐文社 〒113-0033 東京都文京区本郷1-34-5 TEL03-3815-8421 FAX03-3815-8424 http://www.choubunsha.com